

# CASBEE あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)LiCOTT本町通一丁目	階数	地上20F
建設地	岡崎市本町通一丁目32番2、康生	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	280 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2018年5月14日
敷地面積	936 m <sup>2</sup>	作成者	成瀬德行
建築面積	419 m <sup>2</sup>	確認日	2018年6月15日
延床面積	6,719 m <sup>2</sup>	確認者	成瀬德行



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.0</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">31.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.9</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部							住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部		重み係数	住居・宿泊部分		重み係数	全体			
				評価点	評価点		評価点	評価点					
<b>Q 建築物の環境品質</b>											<b>3.0</b>		
<b>Q1 室内環境</b>											<b>3.5</b>		
<b>1 音環境</b>											<b>2.6</b>		
1.1 室内騒音レベル													
1.2 遮音													
1 開口部遮音性能											3.0		
2 界壁遮音性能											2.7		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)											3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)											3.0		
1.3 吸音													
2 温熱環境											<b>3.7</b>		
2.1 室温制御													
1 室温											3.0		
2 外皮性能											3.0		
3 ソーン別制御性											4.0		
2.2 湿度制御													
2.3 空調方式													
3 光・視環境											<b>3.7</b>		
3.1 昼光利用													
1 昼光率											3.0		
2 方位別開口											4.0		
3 昼光利用設備											4.0		
3.2 グレア対策													
1 昼光制御											4.0		
3.3 照度													
3.4 照明制御													
4 空気質環境											<b>3.4</b>		
4.1 発生源対策													
1 化学汚染物質											4.0		
4.2 換気													
1 換気量											3.0		
2 自然換気性能											3.0		
3 取り入れ外気への配慮											3.0		
4.3 運用管理													
1 CO <sub>2</sub> の監視													
2 喫煙の制御													
<b>Q2 サービス性能</b>											<b>3.1</b>		
<b>1 機能性</b>											<b>2.9</b>		
1.1 機能性・使いやすさ													
1 広さ・収納性											3.0		
2 高度情報通信設備対応											3.0		
3 バリアフリー計画											3.0		
1.2 心理性・快適性													
1 広さ感・景観 (天井高)											3.0		
2 リフレッシュスペース											3.0		
3 内装計画											3.0		
1.3 維持管理													
1 維持管理に配慮した設計											2.0		
2 維持管理用機能の確保											2.0		
<b>2 耐用性・信頼性</b>											<b>3.3</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振													
1 耐震性(建物のこわれにくさ)											3.0		
2 免震・制震・制振性能											5.0		
2.2 部品・部材の耐用年数													
1 躯体材料の耐用年数											5.0		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔											4.0		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											3.0		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔											3.0		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔											3.0		
6 主要設備機器の更新必要間隔											2.0		
2.4 信頼性													
1 空調・換気設備											3.0		
2 給排水・衛生設備											3.0		
3 電気設備											3.0		
4 機械・配管支持方法											3.0		
5 通信・情報設備											3.0		



**重点項目スコアシート**

(仮称)LICOTT本町通一丁目

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.0</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.0	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.9</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.3	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:31%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)LiCOTT本町通一丁

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>周辺建物に溶け込むようなデザイン、カラーを採用。 20階と高層の為、免震建築物とし、地震時は揺れを和らげる計画とした。</p>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>床材はLR-45のものを使用し、遮音に配慮。 サッシについては遮音等級T-1を使用。</p>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>屋上に自家発電設備を設け、非常時に備えた。 インターネットの集合一括契約、地上波デジタル放送、BS・CSアンテナから受信する電波の混合配信等情報通信設備の充実。</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>限られた敷地の中で、敷地境界との間にできる限り緑地を設けて敷地を有効活用し、人が歩く部分は日影となるよう工夫。</p>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>設計住宅性能評価で断熱等級4を取得。 共用部、外構の照明はLEDを使用し、消費エネルギーの低減に配慮。</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>高効率設備を利用し、資源の保護に配慮。 接着材の化学物質排出はないものを使用。</p>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>敷地内へ個別の分別収集所を設け、周辺環境へ配慮。</p>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>